

T O K Y O

あ お ぜ い

誇りを持って、税理士の明日を語りあおう！

発行所：東京青年税理士連盟 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-8 代々木第10下田ビル7F TEL.3356-2916 FAX.3354-4095
発行人：会長 石山 貴裕 編集人：広報部長 松田 英土

目次	• 第74回税理士試験合格者祝賀会 …………… 1頁	• 会長コラム …………… 5頁
	• 秋の厚生行事 …………… 3頁	• 会員活動報告 …………… 6頁
	• Check！東京青税 …………… 3頁	• シリーズ 事務所経営体験記 …………… 7頁
	• シリーズ 税理士制度の現在地、そして未来へ…… 4頁	• シリーズ 私のベストバイ …………… 8頁
		• 編集後記 …………… 8頁

第74回税理士試験 合格者祝賀会



世田谷部会
鴻野 智良

合格祝賀会当日、事務局の印刷機が不調で、あせっていた私の印刷を手伝ってくれたのが中村副会長で、印刷機の不具合を直してくれたのが、齊藤税制調査部長でした。

最終打ち合わせでも、無線でパソコンからスクリーン投影ができず、四苦八苦していたところを有線コードで守衛さんをご対応してくれました。

会場設営や運営では前田副会長、懇親会ではフードの食事推進で大和屋副会長や急遽お願いしたチームリーダー達に助けていただきました。

二次会では即席で編成した受付で川野さん、阿部浩明さんに、領収書についてはインフルで自宅療養中の金子さんに助太刀いただきました。

新合格者の勧誘では根本組織部長を筆頭に皆さまにお取り組みいただき、20名を越える仲間を迎えることができました。

二次会の精算が終わり、HUBでギネスを仰いだ瞬間、本当に多くの仲間に支えられて、何とかやり終えたと実感しました。合格者祝賀会にご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。





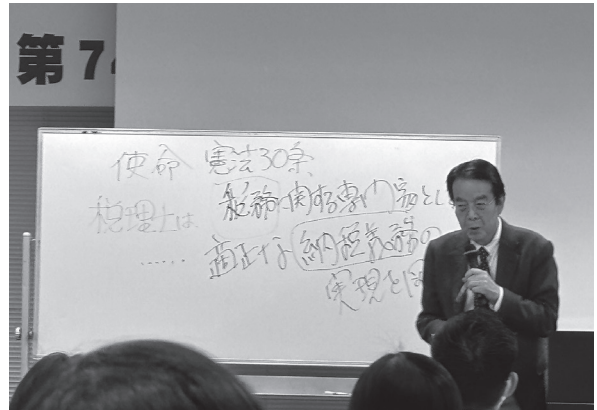
新合格者集合写真



組織部による青税紹介



新合格者の到着が待ち遠しい風景



小池先生による連続基礎講座紹介

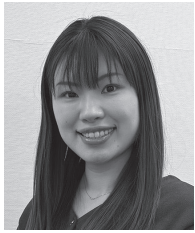


祝賀会が始まりましたYo!



懇親会の乾杯が待ち遠しい風景

秋の厚生行事 『そうだ！上野動物園に行こう♪』



多摩部会
川野 歩美

日本で一番有名な動物園（わたし調べ）での厚生行事ということで、1年ぶり2回目、子供たちを連れて参加しました。前回の厚生行事に参加して感じたことですが、大人がたくさんいるので、子供たちと遊んでもらえるということ。子供たちが5歳・3歳に成長したこともあり、今回はきっと大人1人でもイケるな、と踏んでワンオペで参加させていただきました。

正直わたしは動物が苦手です。動物園はにおいも気になるし、歩いて疲れるし、ハードルの高い場所で、プライベートではあまり行けていませんでした。対して動物の好きな子供たち。

「今度ママと動物園行こうか」とチラシを見せたら「わー！パンダさん見る！」と、久しぶりの動物園に、かなり盛り上がっていました。ありがたいことに「いい子にしてないと動物園行けないよ」のフレーズを1か月くらい使わせていただき、私生活も過ごしやすくなったという利点もありました。

さて当日はお天気にも恵まれ、子供たちも体調を崩すことなく無事に厚生行事に参加できました。大人気のパンダは、実は時間の関係で見られなかったのですが、象やトラ、ゴリラやウサギなど、子供たちがそれぞれ好きな動物を見ることができ、とても満足していました。そればかりかパンダリュックとお菓子のお土産までいただき、子供たちは大喜び。

子供にとっても優しい青税厚生行事、お子さんがいらっしゃる方は一度子連れで参加してみたいかがでしょうか。今も毎日のようにいただいたプレゼントを身に付けて遊んでいます。



上野動物園集合写真

厚生行事でお世話になった皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

～Check! 東京青税～

- 4月 5日（土） 合同同期会（74・73回合格）
- 4月12日（土） 春の厚生行事
- 4月2日・23日・5月14日・5月21日（水）
連続基礎講座
- 6月14日（土） 東京青税定期総会
- 8月 3日（日） 全国青税東京大会

最新の情報は東京青税Webサイトを
ご覧ください。



シリーズ 税理士制度の現在地、そして未来へ



新宿部会
制度部長 岩田 英徳

「国家資格等情報システム」と税理士制度

制度部長の岩田英徳と申します。最近のトピックスと税理士法との関わりを、4回にわたり検討して参りたいと思います。第3回目のトピックスは、デジタル庁が推進している「国家資格等オンライン・デジタル化の開始」と税理士制度についてです。

1. 「国家資格のオンライン・デジタル化」概要

令和6年8月より、国家資格のオンライン・デジタル化が始まりました。①マイナポータルより、資格の新規登録ができ、マイナンバーの活用により、住民票の写し等の提出省略、②登録情報をいつでも確認閲覧可、③デジタル資格者証を利用可、をメリットとして掲げており、すでに社会保険労務士をはじめとする5つの資格において運用が開始されています。税理士資格はデジタル庁HPによれば、令和7年夏以降順次手続きが可能な資格と公表されています。

2. ①についての素朴な疑問

デジタル庁は、メリットの1つとして、オンラインによる資格の新規登録を掲げております。現行の税理士登録は、税理士会支部において登録調査（面接を含む）を行い、日税連における審査を経て税理士登録がなされます。添付書類には、住民票のほか、直近2年分の確定申告書や実務経験を証する書面、事務所設置確認書面などがあり、マイナポータルにより簡略化される情報はごく僅かです。資格を証する書面についても、試験合格者・試験免除者・公認会計士その他さまざまなケースがあり、デジタル庁のオンライン申請システムで新規登録が簡素化されるのか疑問です。

3. ③についての素朴な疑問

現在は必要に応じて、物理カードである税理士証票を提示して税理士資格を証明することが税務調査の現場などでしばしばあります。デジタル庁

は、物理カードをスマホのウォレットアプリで表示する方式に置き換えると公表しています。財布から小銭を出さずにウォレットアプリで支払うのはとても便利で筆者も利用しています。でも税理士証票を提示する場面や頻度を考えれば、納税者や税理士にメリットがあるのか疑問です。

(※日税連は令和6年9月時点では、「税理士証票で表示される内容とデジタル資格者証で表記できる内容に違いがあるので、税理士会はデジタル資格者証を発行しない」と発したとの情報もあります。) ここでもう少し深掘りした解説を、安藤克哉制度部員から伺いたいと思います。

4. 国家資格等情報システムに関する一考

みなさんこんにちは、安藤克哉です。私なりに、国家資格等情報システムについて考えてみました。

前述のように、税理士登録の際、従前の提出書類を、マイナポータルによるデータでの提出が可能になれば、受領・審査する登録調査委員会は、本人確認の簡素化や委員会内部での情報共有、また書類紛失のリスク低減につながるでしょう。

一方、税理士法第19条で定める税理士名簿は、日税連により、税理士登録システム「REOS」にて厳格に管理されているため、敢えてデジタル庁から押し付けられた国家資格等情報システムを利用（正確には連携）する必要性を感じません。コロナ禍や震災などの人命に関わるような緊急時に、この国家資格等情報システムによって即座に医師や看護師の所在が確認でき、人命救助に繋がれば大変すばらしいことです。しかし緊急時に国家を挙げて税理士の支援が要請されるようなケースは想定が難しく、現時点ではデジタル庁が推進するシステム連携に対しコストの無駄なのではないかという印象を強く持ってしまいます。

とはいえ、デジタル化で国民の利便性が上がることには賛成です。マイナンバーカードを持っていない人やスマホを持たない人も救えるような、そんな社会に優しいデジタル化に期待したいです。〈参考URL〉

<https://www.digital.go.jp/policies/government-certification>





会長コラム 青税活動報告



『会長静動』

||||||| 会長 石山 貴裕 |||

新合格者の皆様、税理士試験合格おめでとうございます。開業準備を進めている方、勤務先で引き続き活躍される方、もう少し合格の余韻に浸りたい方、皆様の前途に思いを馳せると私は興奮して眠れません。第74回（2024年）試験の受験者数は34,757人（前年比106%）でした。私が合格した2015年（41,031人）から2020年（26,673人）まで続けて減少しましたが、直近4年間は毎年増加しています。一方、5科目合格者数は578人（前年比96%）で2015年（910人）比64%となっており、この10年間で大きく減少しています。この狭き難関を見事クリアされた皆様に敬意を表します。

東京青税は、納税者の権利を護るために欠かせない税理士制度の発展強化を目指して昭和37年の設立から60年以上活動している歴史ある任意団体です。税理士制度の改善を実現するためには、我々税理士一人一人が継続的に学び、考え、行動することが欠かせません。制度部では次なる税理士法改正を見据えて税理士制度の勉強会「学び舎2」を昨年11月から全12回連載企画として開催中です。

税制調査部では租税制度や税務行政を調査研究し、税制改正要望書を東京税理士会に提出しています。また、法案により納税者の権利が侵害される恐れのある場合は関係省庁に意見書を提出しています。「令和7年度税制改正大綱」には、物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整（いわゆる103万円の壁）への対応、退職所得の源泉徴収票提出範囲拡大、防衛特別法人税の設置などが記載されました。歴史に学び、国際情勢や国会の動向を注視していきます。

研究部では北野弘久先生の著書「税法原論」を教材として、納税者の権利を護ることができる税理士の心得や考え方を身につけるための研究会を開催しています。その他、青山学院大学生とのディベート、シンポジウム論文執筆、判例研究会、

不服申立書き方研修、会員弁護士解説付き法廷傍聴ツアーなどを開催しています。

実務研修部では実務に役立つ研修を月1回ペースで開催しています。年2回開催される六青会（弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、行政書士、土地家屋調査士）研修会は隣接士業と交流できる機会となっており、首都圏青税や地域部会との共催研修、合格後に絶対聞いておきたい先輩税理士の話、事務所見学会も好評を博しています。

厚生部は、会員の日頃の心労を癒すため年2回厚生行事を開催します。組織部は、合格者祝賀会や同期会など新入会員向けイベントを企画します。広報部は、広報誌「あおせい」発行、ホームページやSNSによる情報配信・管理を行います。また、公益活動として小笠原税金相談に会員を派遣し、確定申告期には無料相談会を開催しています。これらの活動は、総務部、経理部、事務局、会員一人一人の理解と協力によって支えられています。

東京青税の上部団体には全国青税があります。東京青税会員から推薦された全国青税理事は、同じ志を持った各地の青税会員と税理士制度の発展を目指して共に活動しています。全国青税では全国大会、シンポジウム発表、日税連との懇談会、韓国税務士との勉強会、ドイツ視察、被災地支援、大学生向け税理士PR活動など多くの行事を通して、かけがえのない知見と経験を得ることができます。

新入会員の皆様、青税行事を通して税理士人生を共に歩み、研鑽し合える仲間を作ってください。思い描く理想の税理士像を目指しながら、共に税理士界を盛り上げていきましょう！

会 員 活 動 報 告

東京税理士会懇談会



千代田部会
中木 啓文

2024年11月7日（木）17時30分より東京税理士会館地階において開催された東京税理士会との懇談会に参加いたしました。

今回、東京税理士会からは足達会長他8名、東京青税からは石山会長他13名が参加しました。

議題は導入より1年を経過したインボイス制度の現況について、本年話題となった定額減税の振り返りから始まり、納付書の事前送付取りやめや收受日付印の押なつ廃止等の旬な話題、税理士試験制度や研修、会務のことなど多岐に渡りました。

東京青税からは皆様にご協力いただいたアンケート結果を踏まえ、インボイス制度が実務上負担の多い制度であること、定額減税の方法が適切でないと思われること等を意見させていただき、東京税理士会の考えを聞くことができました。

その他にも国家資格管理システム連携費用や收受日付印の押なつ廃止に関して足達会長より最新の情報をご提供いただく等、印象的な話題もありました。

懇談会後には近隣で東京税理士会および東京青税合同の懇親会を行いました。

懇親会でも会務等について忌憚のないご意見をいただき、大変貴重な経験をさせていただきました。



税法学原論研究会



準会員
小泉 拓

今回、表題の1月22日開催の特別企画に参加し感想のご依頼を頂きました74回税理士試験合格者小泉拓と申します、どうぞよろしくお願い致します。

私は何年もの間、一年の半分以上は会社と家の往復、飲みに行くのも人に会うのも8月以降という生活を送ってきました。ちなみに毎年合格発表後に最初に家族から聞かれるのは、「で、来年の試験はいつ?」でした。そしてその生活にやっと終止符を打つことができました。

本題に入りますと、私は今まで試験合格のため暗記を中心に各税法を学んできました。しかしこの研修では、税法（公法）と売買契約（私法）そして日本国民が従うべき憲法までを総覧した内容でお話がされ、行政庁の下部組織ではない税理士会とそれに所属する税理士が独立公正の立場で納税義務の適正な実現を図るとはどのようなものであるかご説明頂きました。私の不十分な理解では、税理士とは憲法の租税法律主義まで理解しつつ、課税庁の税金を徴収しようとする時に過剰な力から納税者を守りつつも正しく納税してもらうための判断基準のようなものかと思いました。

しかし一番印象に残ったのは阿部先生の熱意であり、伝えようとする熱いお気持ち・本気度合いは心に響くものがありました。勉強する事が仕入というお言葉を肝に銘じてこれから歩んで行きたいと思いましたが、本当にありがとうございました。

シリーズ
“事務所経営体験記”



文京部会
高橋 千亜紀

令和2年に税理士法人を設立して早くも5期目となり、事務所メンバーも14名になった。本郷支部の支部長職も2期4年目となり、今年6月の定時総会で任期満了を迎える。順風満帆に見えるかもしれないが、つらい時期もあったし、苦勞もしたと思う。でも嫌なことはすぐに忘れる性格が幸いし、仕事は天職だといつも感じている。周りの人から頼まれる仕事を引き受けるうちに、なんとなく成長してきたという感はある。青税で色々な役職を引き受けたことも良かったのかもしれない。すべてが今の事務所経営につながっていると思う。

資格を目指したきっかけ

大学卒業後、証券会社に就職。公開引受部でIPO支援業務に従事するなかで出会った女性の会計士さんや税理士さんに憧れた。私は〇〇証券という大きな看板があるから、お客様が相手をしてくださるけれど看板がなければ何者でもない、看板なくても仕事を続けられる資格者の世界へ行こう、と思い立つ。

突然の失業、そして暗黒の時代

会計士が所長の事務所に勤務し数年経ち、税理士事務所の仕事を天職だと思っていたある日、事務所に金融庁捜査が入った。会計士の所長は有能な方だったが度が過ぎて金融商品取引法を犯してしまい、事務所のPC等すべて没収されるという衝撃の事件が起きた。下っ端の私には問題になった会社は任されてなかったことが結果的には幸いし、やがて私はおとがめなしとなる。しかし、事務所は閉鎖への道をたどる。40を過ぎ失業と悲嘆していたら、同じビルに入居する税理士法人からパートナーに誘われる。しかし、甘い話は世の中にはないことを実感。殺伐とした人間関係に嫌気がさして1年半で退職。

個人事務所をほぼゼロからスタート

自宅近くにワンルームマンションを借りて開業。本郷支部には青税の先輩税理士が多く、当時、支部の役員をされてる方もいらしたお陰で、支部の指定税理士に誘っていただく。少しずつ顧問先も増え、スタイリッシュな事務所への転居も叶い、再び仕事が天職となる。

令和2年11月 税理士法人設立

一人で気ままに事務所運営をしていた中、支部のH先生から事務所を一緒にしないかと頼まれる。正直なところ、以前の税理士法人で散々な経験をしただけに人間関係に悩みたくなく、無限責任も怖くて逡巡したのだが、自宅が近く、支部活動でお世話になり、信頼できる方からのお声掛けなので引き受けた。

令和3年6月 本郷支部の支部長に就任

税理士法人設立準備をし始めた頃、次期支部長に推薦された。総務部長や副支部長を経験せずにいきなり支部長を務める自信がなくお断りしたのだが、支部の諸先輩からは「青税の会長もやったお前ならできる」と強く推され、最後はH先生からの後押し「我々の時代は女性が支部の部長になることもなかった、女性初の支部長だから引き受けた方が後輩の女性のためになるわよ。」が決め手となりお引き受けした。一緒に支部活動してくれる仲間には関わって楽しいと思ってもらえることを念頭に過ごしてきた。

今を楽しむ

おかげさまで事務所設立以来、顧問先は増え、2年目には不動産会社と同社が管理する地主さん達がお客様に加わり、一人事務所時代にはほとんど経験をつめずにいた資産税のお客様にもたくさん出会えた。

私の人生は常に人に声かけられ、引き受けたからには何事も楽しみながら取り組んできただけである。変化を恐れない楽観的で好奇心ある性格が幸いしたのだろう。この先また何か困難に出会うかもしれないが、常に今を楽しみながら前に進んでゆきたいと思っている。そして、それは縁があって事務所に勤めてくれているスタッフにも仕事を楽しいと思ってもらえるような事務所になりたいと思っている。

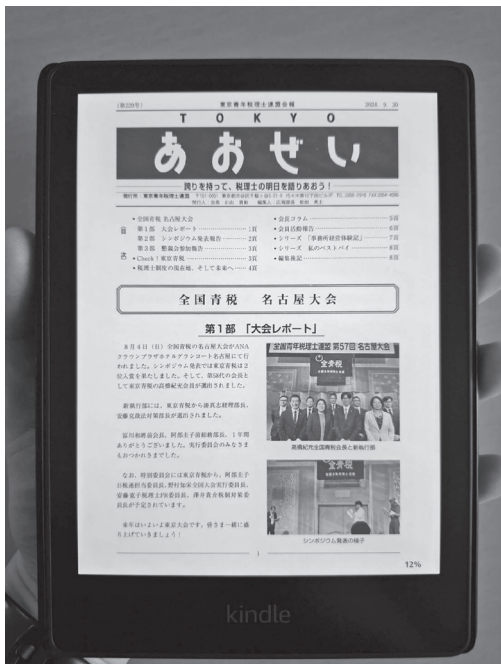
シリーズ 私のベストバイ



港部会
鈴木 駿

税金の本って重いかさばりませんか？そんな方にオススメなのがKindle Paperwhiteです。

Kindle Paperwhiteなら、税金の専門書をはじめとする膨大な書籍を1台にまとめて持ち運べます。バッグの中でかさばる心配もなく、移動中でも気軽に読書を楽しめます。私はポケットに入れて持ち運んでいます。ポケットに入れるとさすがに邪魔な位の大きさです



また、電子書籍が苦手な方にも安心です。Kindle Paperwhiteのスクリーンは紙と同じ反射光を使っているようで、長時間読んでも目が疲れにくい設計になっています。

さらに、紙の書籍と違って暗闇でも本を読むことができ、明るさも調整できるので、寝る前の読書にも助かっています。横になりながらでも読みやすいのは嬉しいです。

加えて、Kindle PaperwhiteはPDFファイルの取り込みにも対応しています。そのため電子書籍化されていない書籍もPDF化して持ち運ぶことができますし、いつでもどこでもあおせいを読むことができます。

欠点としてはページめくりにかかるので、漫画は少し読みにくいです。しかし勉強の本を読もうとして漫画を読んでしまうことが無いので、個人的にはかえって助かっています。

税金の学びをもっとスマートに、効率よくするために、Kindle Paperwhiteをぜひお試しください！



編集後記

秋の厚生行事、合格祝賀会と目玉行事が揃い踏みの広報誌となりました。

祝賀会では新入会員の方の熱量に圧倒されとてもいい刺激をいただきました。

12月決算や確定申告で忙しくなりますが個人的には花粉症と戦う季節です。青税の仲間と情報交換をしながらうまくこの時期を乗りきり、また飲み会にも参加していきます。(E.M)